

はなさと夏祭り

第202号
2022/09/01

はなさと夏祭り延期について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、この2年間はなさと夏祭りは規模を縮小し、利用者様とスタッフのみで開催してきました。ご家族様との交流の場となっていた夏祭りが通常通りに開催できない淋しさを感じながらも、利用者様が束の間のお祭り気分を味わい、楽しんでいただける場となっております。

今年も規模を縮小し、感染予防対策をとりながら8月31日の開催に向けて準備を進めておりましたが、第7波の猛威は凄まじく、現在の状況での開催は望ましくないと考え、延期することになりました。夏祭り委員を中心に、創意工夫し準備を進めていた矢先の延期となり、本当に残念ですが、安心・安全、皆さんの健康を守るための決断です。状況が落ち着いてきた際には、はなさと祭りを開催したいと考えています。秋祭りとして開催できることを願っています。秋祭りとして開催できたとしても、規模は縮小しての開催になるかと思えます。ご家族様とのふれあいの場が設けられないことは、大変淋しく、申し訳なく思いますが、皆様を守るためにご理解いただければ幸いです。

開催できた折には、利用者様の様子を写真などでお伝えしたいと考えておりますので、楽しみにお待ちいただければと思います。



はなさと農園紹介

はなさと施設裏に畑があり、色々な野菜を栽培しています。元々は利用者さんのリハビリの一環として始まった農園ですが、現在は参加できる利用者さんが少なく、業務員の青木さんとリハビリスタッフを中心に栽培しています。春から土作りを始め、苗植え、水やり、雑草取り、と手をかけて育てています。

今年は暑い日が続いたので、太陽の恵みをたくさん浴びて、立派な野菜が実りました。ピーマン・なす・トマト・ゴーヤ・オクラ・かぼちゃ・パプリカ・スイカなどたくさん収穫出来ました。採れた野菜は利用者さんに食べて頂くほどの数の収穫には至らないため、目で楽しんで頂き、スタッフで分け合っており、ありがたく、おいしく頂いています。



新しいメンバー紹介



3階 介護福祉士 桐谷 千尋
私の名前は桐谷千尋と申します。出身は福岡県行橋市という町で、海に面した北九州市の隣町からやってきました。

高山市へ来たのは1年前で、主人が高山出身で結婚を機に引越してきました。まだまだ高山という地や方言が分からず、日々勉強をしている感じです。

利用者様から「ああ、えらい...」との訴えがあった時には、何故急に褒められたのかと不思議でしたが、少しずつ方言が分かるようになってきました。時々聞き取れない時がありますが、その時はご指導よろしく願います。

また、老人保健施設という場所は今まで経験がないので、日々の流れや利用者様のADL維持をどのように支援していけば良いのか、少しずつ勉強しながら知識を付けたいと思っております。皆様にはご迷惑をお掛けすることもありますが、よろしくお願い致します。

《前職はどういう所?》

回復期や療養型に約15年間勤めてきました。地域に密着し、お金がなく医療が受けられない方たちに無料診療提供したり、老々介護で生活が困難とする方たちが社会的入院できる病院でした。

《地元の名物は?》

海鮮は勿論、明太子・もつ鍋・とんこつラーメン・鉄鍋餃子等があります。コロナが収まった頃には、ぜひ福岡へ足を運んでみて下さい。

